

2019年 新年のご挨拶

西日本OBサッカー連盟
会長 松崎隆美



昨年は、地震や台風、豪雨等の自然災害に見舞われ、日本各地に膨大な被害をもたらしました。被害に遭われた地域の皆様には心からお見舞い申し上げるとともに一日も早く復興されることを祈念いたしております。

西日本OBサッカー連盟の高知での全域大会も、連日の大雨で道路の遮断などの影響で大会を途中で中止せざるを得ませんでした。全域大会の開催に向けて長期間にわたり準備をしていただきました高知昭和OB会をはじめ関係の方々には感謝申し上げますとともに自然災害といえども大会中断は本当に残念でした。

しかしながら大会の初日の夜にはほぼ全参加チームが揃っての懇親会が開催出来、楽しく親睦がはかれたことは良い思い出ができました。

さて、連盟も創立40年余を迎えて取り巻く環境も大きく変わってきました。昨年来、本部として全加盟チームにアンケートをお願いして、今ある課題を取りまとめ、改善の一步を踏み出したところであります。

その中で大きな課題として「組織のNPO化」があります。当連盟が更に発展していくためには現在の組織体制では継続性・変革・責任等に限界がある事、また各地域団体と連携を取って進めて行くためにも社会的に認められた組織にすることが不可欠であると考え、本部事務局では精力的にNPO化に向けての準備作業に取り組んでおります。また、組織形態は活動カテゴリーを60歳以上にする等、大きな変革を十分な議論を重ね会員の皆さんに納得していただける組織体制づくりを進めたいと検討しております。

今まで掲げて実行してきた**親睦第一・勝敗第二・生涯現役**の理念に変わりはありませんが、**家族への感謝**の気持ちを加えたいと考えております。

今年も西日本OB連盟の掲げた精神のもと、一人でも多くの皆さんと楽しいシニアサッカーを展開していきましょう。